

FG-550A

製品 code : 400-4790-00

JAN code : 4944924407612

製品重量 : 11.7 k g

梱包サイズ(cm) : 27(H) x 28.5(W) x 60(D)

皆様いかがお過ごしでしょうか。まだまだ寒いですね——、と記事を書いている間にととう花粉がぼら撒かれだしました。寒いのも勘弁ですが、こう花粉症が辛いとそれもまた外に出られないですね。

今回はハイブリッドローラーのフルモデルチェンジの特集です。

2015年にFG540を販売開始し、2018年にFG542へのモデルチェンジを行ない、着実に技術の蓄積を製品に生かしてきました。

FG540からFG542へのモデルチェンジが「改良」であったとすれば、今回のFG550Aは「進化」を遂げたといえます。

今回は特にご紹介したいポイントが多いため、文字数多めに案内させていただきます。



『ハイブリッドローラーとは』

ハイブリッドローラー方式は、フロントフォークを固定し後輪を自重で負荷装置に押し付ける形式のトレーナーです。

開発当時主流の、後輪を挟み込んで負荷装置をタイヤへ押し付ける形式(タイヤドライブ)では、急速に普及し始めた12mmスルーアクスルとは構造上相性が悪いため、より多様な規格に対応できる拡張性の高いプラットフォームの需要が高まっていました。

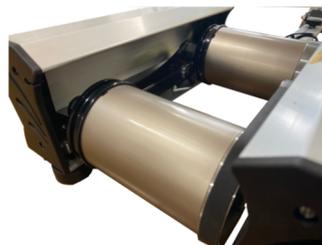
この様な背景から、より様々な規格に対応できるように、またより開放された実走感が得られるようにと設計開発されたのがこのハイブリッドローラーという形態です。

『静粛性への自信』

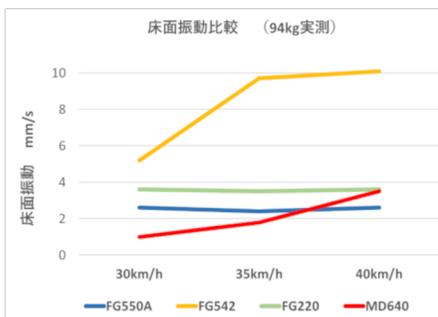
製品名にある“A”はアブソープ(減衰)の略称であり、他にR820Aというハイエンド三本ローラーにも冠しているそれは、静粛性追求に対するMINOURAの自信の表れです。

後輪を載せるローラーユニットが独立し、これを本体のアルミフレームへゴムダンパーによってフローティングさせることにより、床へ振動が伝わることを防ぎます。

実際に各トレーナーと比較したところ、静かさと定評のあるFG220に対して32%~28%、前モデルのFG542に対しては、なんと50%~75%も動作振動が低下するというデータが得られました。



ローラー/負荷装置を一体化したフロント構造



ここだけ話

MINOURAには静粛性に特化したMD640というトレーナーがあります。ダイレクトドライブ式で、静音性に特化した設計を行っています。

ハイブリッドローラーのような自由さはないかもしれませんが、剛健、安定、静粛という点でおすすめです。

『耐久力を高めた堅牢な負荷機構』

前モデルでは基本的な設計はそのままに、負荷装置からタイヤへの負荷抵抗の伝達をリブドベルトによる駆動へ変更したことによって、より軽い漕ぎだしとなめらかな乗り心地がポイントでした。

FG550Aでは軸受部分について抜本的に新規設計を行い、絶対的な精度と耐久性を獲得しました。



FG550A 負荷ユニット



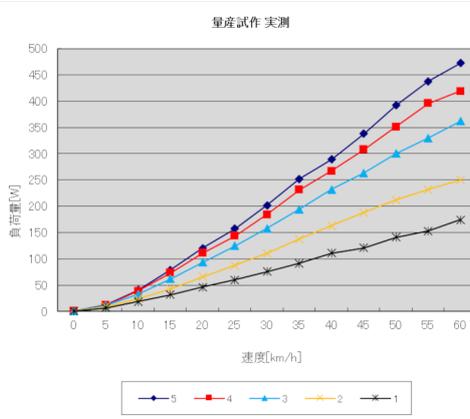
FG542 負荷ユニット

『負荷レンジの変更』

前モデルのFG542では負荷が強めに設定されており、使用される人の中では最小負荷でも漕ぎ出しが重く、最大負荷まで使い切れないといったケースがありました。

FG550Aでは負荷段数を5段階に減らしましたが、各負荷レンジ毎のセッティングを変えることにより、より実用的な負荷量を選択できるようになりました。

実際に試乗して比較したところ、軽い負荷レンジでは82~83%、高い負荷レンジでは93~95%になっていました。



ここだけ話

重いというのは私見でもありますが、カスタマーにも時々重すぎて壊れているんじゃないかと相談を寄せられることがあります。

そんなときはタイヤの空気圧とベルトが張り具合を調整してあげてください。タイヤの変形はそのまま負荷抵抗になりますので、外を走るときの1割くらい高めを目安として紹介しています。

『傾斜調整機構の搭載』

ハイブリッドローラーは後輪を固定しないため実走に近い感覚が得られますが、使用環境によっては後輪が左右にずれてしまうことがあります。これを解消するには後部ユニットだけでなく三脚部分も一緒に高さ/傾きの調整する必要があります。

本製品では後部ユニットにアジャスター脚を追加するだけでなく、フォーク受け部に角度調整機構を設けたことにより、設置場所に応じて調整することができます。

屋外のレース会場を想定するだけでなく、例えば普段トレーニングを行う自宅ベランダといった僅かな水勾配が有るところでも、傾きを調整しておくことで、即座に安定して快適にトレーニングを行うことができます。



FG550Aのフォーク受け部は車体に合わせて、15mmピッチで三段階に高さを調整でき、かつ左右に3度ずつ角度を修正することができます。

3度というほんの僅かに感じますが、実際補正しようとするとき4cm近くも脚の下に挟んで高さを調整しなくてはならず、また安易な高上げは安定を失ってしまいます。

ハイブリッドローラーの祖先か？

ハイブリッドローラーは2015年からの販売となりますが、実はそのずっとずっと昔に同じようなトレーナーをミノウラでは作っていたことをご存じでしょうか。右の写真は1982年のカタログから引っ張ってきたものです。

弊社のトレーナーの歴史は、まず三本ローラーを作ることから始まりましたが、そこから発展する中で誕生したのがこのモデルです。

その後固定トレーナーから発展したハイブリッドローラーが同じ形になるのはヤドカリがカニそっくりに進化したみたいな話で面白いですね。



- 高速回転に耐えるアルミローラー。シールド使用。回転も静かで強度、精度、耐久性に優れている。
- ハンガーを固定するため、安定がよく快適に利用できる。
- 室内トレーニング、美容と健康にお役立ていただけます。
- 組立台の代役としても利用出来ます。
- スピードメーターは120km/hまで表示。

いくらトレーナーの上とはいえ、120km/hはちょっとやり過ぎじゃないですか・・・。



新製品紹介

LEVEL-170HS アンカー金具

前々回のミノウラ通信にて紹介したレーススタンド LEVEL-170HS用の固定金具の仕様が正式決定しました。

レーススタンドはお店や施設などで広くご使用していただいておりますが、常設時の転倒や盗難などを防ぐ目的で地面にアンカー固定をするための金具です。



SKU: 420-4007-00
材質: ステンレス
希望上代: 1,650円 (税込)

脚二本分の金具がセットです。
※アンカー/ペグは付属しません



ちなみに、前モデルのLEVEL-170Hには孔を設けていないため対応していませんが、本体脚部に孔開け加工を行っていただくことで取り付けることができます。

特集 ひな壇式展示台

進学を期を迎え、家庭に自転車が増える時期になりました。私の家でも3人兄弟のため、一時期3、4台の自転車が玄関先を占領して、ごちゃごちゃとしていたのを思い出します。

ロードバイクなど軽量の自転車ならいざ知らず、ママチャリや電動アシスト車では空間を活用しようにもなかなか手段が無いものです。

そんな時はひな壇式什器を使ったスペースの有効活用を試してみてくださいはいかがでしょうか。



取り出しやすく置のなら

971-3U

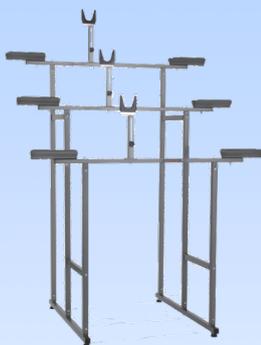
耐荷重：各段30kg



床面を活用するなら

971-3HU

耐荷重：各段30kg



971のおすすめポイント



-3Uと-3HUを前後に並べて
デラックスな展示ができます

ベースを平行四辺形のように変形させて
奥行きやバイク同士の干渉を調整できます

重量級バイクの保管なら

EBS-3

耐荷重：各段100kg



EBS-3のおすすめポイント



工具なしでストッパーをずらすだけの
かんたん調整&設置
タイヤを3点保持してがたつき無用

耐荷重100kgは伊達じゃない！
階段代わりにしてバイクを載降できる

※危ないので乗り降りには慎重に行ってください

既に971シリーズを使用されているなら

971-3U用ハンガー受け

へ換装してもっと便利に！

971シリーズはBBを受ける金具の改良を受けて、
モデル名に“U”がつきました。

以前はBBシェル底部を受ける三つ爪型ハンガー
を採用していましたが、昨今BB周りが大型化して
きて安定して載せられないバイクが出てきました。

これを受けて多様なバイクに対応できるように、
クランク軸を受け支えるU字形のハンガーに変更
し、対応できる自転車が増えただけでなく、より使
いやすくなりました。

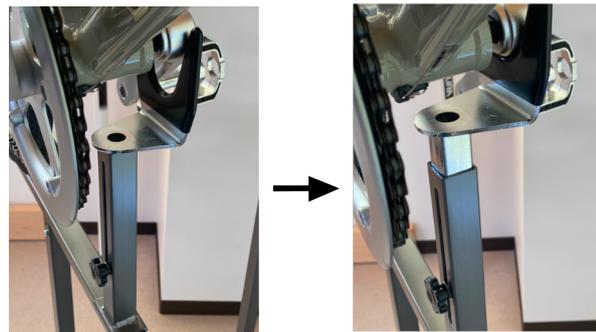


971用クランク軸受けアタッチメント

JAN CODE：4944924424145

BB直下に、ケーブルハンガー、Di2ジャンクション、ダイレクトマ
ウントブレーキなどが存在し、邪魔で載せられないという状況も解
消できます。

手軽さと安定した保持の両立



自転車を載せて

ハンガーを伸ばすだけ

ちなみに24インチ以上の車体用ですがBD-1は固定できました

発行：株式会社箕浦
〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮134-1
TEL0584-27-3131 / FAX0584-27-7505
www.minoura.jp / infodesk@minoura.jp